



【使用方法】

1. 試験開始前にテスターの電圧スイッチ (S2) を25Vレンジに設定する。
2. 一端子、+端子をケミコンの電極にそれぞれ接続する。
3. テスターの電圧スイッチ (S2) が25Vであることを確認し、スイッチ (S1) をTESTにする。
4. 電流が1mA以下になったらS2スイッチを切り換えて電圧レンジを上げる。  
(電流値は20mAレンジで表示されている。2mAレンジにする場合は押しボタンスイッチS3を押す。)
5. 使用電圧の10~20%増しまで電圧を上げる。(トラレスは140Vまで。ただし、ケミコンの定格電圧以下の範囲)
6. 数分過ぎても漏洩電流が減らないような場合はそのケミコンが不良と判定する。
7. テストが完了したら、S1スイッチをDISCHARGEにしてから電極を外す。(被試験体のケミコンをディスチャージする。)

※ 本器をACに直接接続する場合はショート等に注意のこと。

※ 本器は電圧レギュレーションを悪くして、たとえショートしても電流を抑えるよう考慮されている。

参考文献(オリジナル)  
 ケミコンテスター兼回復器 ラジオ工房 内尾悟  
 定年前から始める男の自由時間 真空管ラジオ・アンプ作りに挑戦! - P67  
 技術評論社 2004. 7. 25 初版

図面名称	
ケミコンテスター ELECTROLYTIC CONDENSER TESTER	
作成年月日	Page 1 / 1
2005年 3月21日	